

企画総務委員会 送付29-18

明大通りの工事における街路樹部分の再考を求める陳情

受付年月日 平成29年10月12日

陳情者

陳情書

(趣旨)

私は明大通りや周辺の緑が気に入って長年駿河台に暮らしています。通りの青々とした木々は夏の暑さや秋の寂しさを忘れさせ日々の癒しとなり、駿河台の大きな魅力です。

その明大通りの街路樹が今月に入って突然枝が伐られ、なんと根こそぎ取り払われています。いったい何が起こったのかわかりません。

私の住む地元町会は街路樹の撤去も含め工事要求をしているとのことですが、長年ここに住んでいますが、同じマンションの住民共々、どこに町会や町会長がいるのかもわかりませんし、町会からの知らせを受け取ったこともありません。このままでは私たちの意見は全く無視されることとなりますので、議会に陳情いたします。

街路樹については、反対意見も陳情も多くあるのに、強引に工事が進められているとのこと、地元住民として大変理不尽に思います。

また1度だけ行われた説明会では、プラタナスの街路樹撤去に反対する声の大きさに、元協議会委員で工事を進めてきた方までも、街路樹をどうするかについては再考したらどうかと発言したとのこと、長く関係した人々がそう提言することは重大なはずですが、なぜ工事内容を再考しなかったのでしょうか。せめて工事再開を延ばし話し合いをするべきではないでしょうか。

バリアフリーと歩道拡幅の工事とありますが、通りで立ち往生している人を見たことはありませんし、通りを狭くしているのは街路樹ではなく商店の看板などです。人に優しい道を作るなら、心を癒す緑あふれる道にするべきです。直すべき所を間違えていると感じます。

このような大きな疑問や反対の声が無視されたまま、マスコミによっても工事内容への疑問が呈されており、千代田区政への信頼や評判は落ちています。

明大通りの街路樹について再び考え、反対意見は無視して推し進めることをせず、場合によってはプラタナスを戻すこともできるような工事の進め方とすること、街路樹の植え込みを大きくとり、将来もまた緑あふれる通りとなるような工事をするように求めます。

平成29年10月12日

千代田区議会議長 松本 佳子 様